

(様式 2)

議事録番号

提出 2012 年 4 月 11 日

## 会合議事録

研究会名： 第 10 回顕微ナノ材料科学研究会「第 7 回日本表面科学会放射光表面科学部会・SPring-8 利用者懇談会顕微ナノ材料科学研究会合同シンポジウム」

日 時： 2011 年 11 月 25 日 (金) 13:00～11 月 26 日 (土) 15:00

場 所： 大阪電気通信大学 寝屋川駅前キャンパス (京阪本線 寝屋川市駅)

出席者：大門 寛 (奈良先端科学技術大学院大学)、越川 孝範 (大阪電通大)、渡辺 義夫 (JST-ERATO・慶應大)、木下 豊彦 (JASRI)、小嗣 真人 (JASRI)、他 30 名

計 35 名

議題：本研究会のテーマである放射光を用いた顕微スペクトロスコーピーに関する最近の研究の講演、進展状況などの報告と問題点の議論

議事内容：

1. SPring-8 の東大放射光アウトステーションについて

東大放射光アウトステーションは微小ビームが使えるために顕微分光に適したビームラインである。建設 2 年目となり、先進的なデータが出始めているので、それらを紹介して、現状と問題について議論した。回転楕円メッシュを用いた新しい顕微光電子回折分光器についての報告もあった。

2. PF の現状と成果について

高度化の行われた PF の最新の顕微分光の成果の紹介と、現状の問題について議論した。主に PF-BL13A と BL-16A について議論した。

3. 高分解能のスピン分解装置について

高効率のスピン ARPES と、高輝度高偏極 LEEM について現状の問題について議論した。

その他：

利用懇には学生の旅費の補助を戴いて感謝しています。

JASRI には、軟 X 線微小ビーム円偏光ビームラインの増強、低エネルギー運転に

よる軟 X 線領域のフラックスの増強を要望します。